

臨床病理論12

火曜4限

腫瘍(2)

医療経営学科

研究室 7階 第5研究室

江原 朗

上皮性腫瘍と非上皮性腫瘍 (良性腫瘍)

- 上皮性
 - のう腫
 - 腺腫
- 非上皮性
 - 神経鞘腫
 - 脂肪腫
 - 平滑筋腫

上皮性腫瘍と非上皮性腫瘍 (悪性腫瘍)

- 上皮性(がん)
 - 扁平上皮がん: 食道がんなど
 - 腺がん: 胃がんなど
 - 移行上皮がん: 膀胱がんなど
 - 未分化がん
- 非上皮性(肉腫)
 - 骨肉腫
 - 脂肪肉腫
 - 横紋筋肉腫

がん遺伝子

- 正常な遺伝子が修飾を受けて発現・構造・機能に異常をきたし、正常細胞のがん化
- ニワトリに癌（肉腫）を発生させるウイルスの発見からはじまる
 - タンパク質（あるいは酵素）の活性増大
 - 調節の失調
 - 細胞分裂期に染色体異常

がん抑制遺伝子

- がんの発生を抑制する機能を持つタンパク質（がん抑制タンパク質）をコード
- 遺伝子の変異
 - P53: 大腸癌、乳癌
 - Rb: 網膜芽細胞腫、骨肉腫など、
 - BRCA1: 家族性乳がん、子宮がんなど、
 - MSH2: 大腸癌
- 発見: 網膜芽細胞腫に関与する遺伝子(RB 遺伝子)の発見にはじまる(1986年)

発がん因子(1)

- 物理的因子:
 - 虫歯: 舌がん
 - レントゲン: 皮膚がん、白血病、
 - 日光過敏症: 皮膚がん
- 化学的因子:
 - コールタール: 皮膚がん
 - たばこ: 肺がん
 - アスベスト: 胸膜中皮腫

発がん因子(2)

- 生物的因子
 - パピローマウイルス:子宮がん
 - レトロウイルス群:成人T細胞白血病
 - HIV:カポジ肉腫
 - B型・C型肝炎ウイルス:肝がん

悪性腫瘍の分類

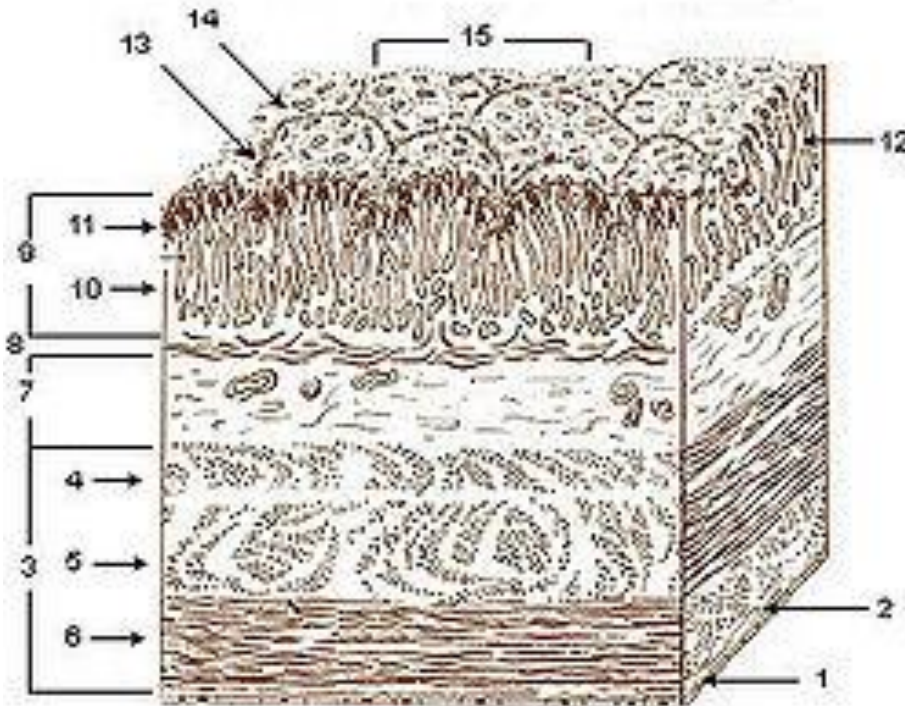
- 原発臓器別分類：原発巣がどこか
 - 診療情報管理では原発・続発ともに(部位)
- 発生組織別分類(組織形態:Mコード)
- 分化度：高分化癌、未分化癌
- 機能分類：ホルモン産生腫瘍など(内分泌などの追加分類)
- 進行度による分類
 - TNM分類

TNM分類

- T: 原発腫瘍の大きさ、T0からT4
- N: 所属リンパ節への転移、N0からN3
- M: 遠隔転移、M0からM1

早期癌と進行癌

- 早期癌：粘膜下層にとどまるもの
- 進行癌：固有筋層や漿膜面に及んだもの



- 9. 粘膜
- 7. 粘膜下層
- 3. 固有筋層
- 1. 漿膜